

## 【第1回 IPD 懇談会議事録】

1. 日 時：令和5年1月18日（水）10時00分～12時00分
2. 場 所：機械振興会館 5S-1 会議室（東京都港区）
3. 議 題：①委員紹介  
②IPD システム構築に係る課題について  
③その他
4. 出席者：[委員] 岸本委員、橋爪委員、江黒委員、塩原委員、津田委員、池田委員、松岡委員、高木委員、三田委員、新川委員（名簿順）  
[日本技術士会]寺井会長、寺沢専務理事、技術士制度検討委員会 中川委員長
5. 議事録：①日本技術士会 技術士制度検討委員会 中川委員長から会長紹介、委員会紹介があった。  
②日本技術士会 寺井会長から開会の挨拶があった。  
③寺井会長が岸本委員を主査に指名し、満場一致で承認された。  
④岸本主査から挨拶があり、続いて塩原委員を副主査に指名し、満場一致で承認された。  
⑤事務局（中川委員長）から、本懇親会出席委員は10名であり、定足数を満たしているむねの報告があった。  
⑥委員ならびに事務局の自己紹介があった。  
⑦事務局（中川委員長）から、懇談会資料の確認があった。  
⑧岸本主査から、本懇談会の議事録の取り扱いについて説明があった。  
・本懇談会の議事録は全文書き起こし原稿を出席委員に確認いただいたうえで、公開用の議事録を作成することとする。  
⑨事務局（中川委員長）から、日本技術士会の IPD に関する検討の経緯、本懇談会の設置経緯について説明があった。  
⑩事務局（寺沢専務理事）から、GA&PC 改訂と IPD との関連について説明があった。  
⑪寺井会長から、IPD システムのプロトタイプと社会実装イメージについて説明があった。  
⑫事務局（中川委員長）から、IPD ヒアリングの進捗が報告された。  
⑬IPD に関する考え方が各委員から紹介され、意見交換が行われた。  
・企業の中の OJT では限界があるので、SDGs など各企業が望んでいるテーマについて良質な共通プログラムを提供するものになることが期待される。  
・「GA&PC に準拠した IPD 導入の効果」について「倫理」も課題になるのではないかと。  
・技術士は課長級での取得が望ましく、IPD がその契機になることが期待される。  
・PC に関する提供コンテンツが早期に望まれる。  
・仕組み自体が重くならず、使いやすいものにしないと取り入れられにくくなる。  
・IPD をゼロから作り上げるのではなく、「今までのものを改良する」という視点も必要ではないかと。  
・業績評価／能力評価というのが両輪であるが、IPD は能力評価の方に親和性がある。  
・自社の教育制度で専門的分野は充実していると思うが、コミュニケーション能力、問題解

決、リーダーシップなどの部分では若手向けに充実しているとはいえない。その部分を IPD に期待したい。

- ・ IPD システムは、技術士だけではなく、技術者全体向けに進めていく必要がある。
- ・ 今ある教育制度を各所（各コミュニティ）が改善し、それを広く統括するような IPD システムであるべき。
- ・ IPD 支援者の養成が重要。
- ・ IPD を実践した人が、積極的に評価される仕組み（役職 UP に連動するなど）作りが必要。
- ・ IPD を実践していることが正当に評価されることが必要。そのためには評価する側にも IPD に関する理解が必要なので、関係者で連携して経営層に意義をアピールすることが大切。
- ・ 技術士制度への IPD の導入に続き、次には技術者全体に IPD を広げていくステップ論が必要。

⑭岸本主査から、次回以降の進め方について説明があった。

- ・ 1 月 25 日開催予定の文部科学省技術士分科会で本懇談会の概要を報告する。年度内に第 2 回 IPD 懇談会を開催し、本懇談会の今後の進め方についてロードマップ（案）などを提案させていただきたい。

－以 上－